

●9月定例会の一般質問(要旨)

質問

小児がん対策について。診断ハンドブックの周知と支援では、厚労省は東京都が開業医向けに作成したハンドブックは有用であるとした。周知では、県の対応はどのようなものか。

答弁

県では、厚労省からの事務連絡を受け、県内129カ所の病院に情報提供したと聞いている。このハンドブック活用して適切な医療を受けられることを期待している。

質問

マイナンバー制度の現状と課題については、今後、カードの普及をどのようにして進めていくのか。利便性の向上をどう考えるか。

答弁

児童手当の申請、保育所の入所申請など15種類の手続きはインターネット上で行われるものであり、市役所に足を運ばなければならなかったものも含まれており、更なる利便性向上が図られる。三条マルシェや今後、健診会場などにも拡大して様々な機会をとらえて、きめ細かな啓発に取り組んでいきたい。

●12月定例会の一般質問(要旨)

質問

地域包括ケアシステムの構築については、三条市の取組みと現状はどうか。

答弁

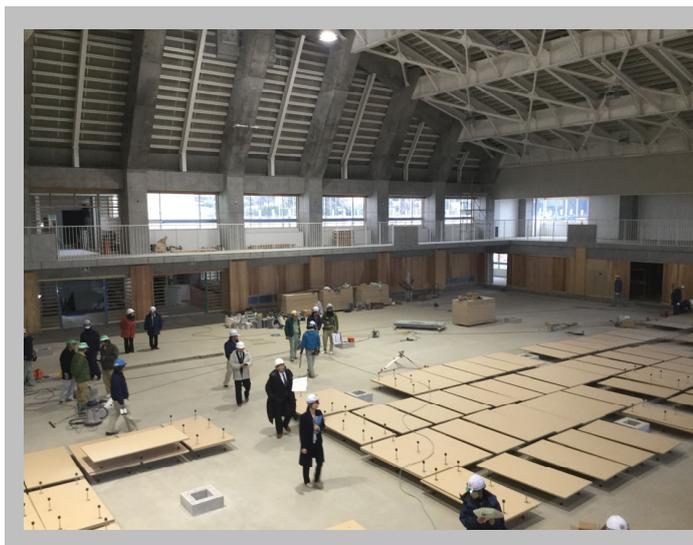
支援が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるための環境づくりとして、医療、介護、生活支援の三本柱を中心に進めていく。地域住民が相互に知恵を出し合い支援体制が喫緊である。様々な施策の展開を図っていく。

質問

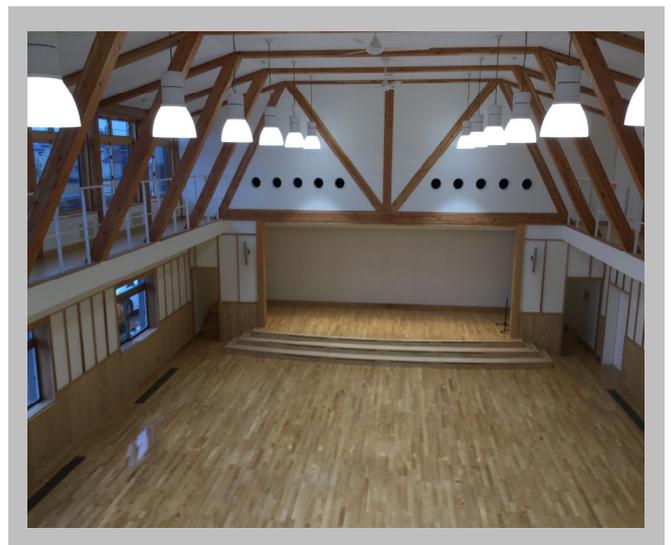
マンホールカードについて。三条市版は8月に発行されたが取り組みはどうか。

答弁

例月政策会議での提案がきっかけであった。工具デザインを採用したもので、ものづくりの魅力を感じてもらえるように鍛冶道場で配布している。11月末までに1742枚を配布した。街なかでマンホール探しのイベントも行った。



大崎中学校区小中一体校(大崎学園)体育館



裏館保育所の遊戯室

「現場からの声、皆様からの声をカタチに変えて行きます。」しっかり対応してまいります。気軽にご相談を下さい。 三条市議会議員 のざき正志 携帯080-9804-9371

ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>